

# りました



予算の詳しい内容は、市のホームページでも見られるよ



子供の健やかな成長を支えるため、健康保険適用医療費の自己負担分を助成。入院費の助成対象を中学生まで拡大し、3歳未満の子供や、非課税世帯の子供の初診時一部負担金も助成します。

関連予算 **6億8,189万7千円**

**重点** 子供の医療費助成を拡大

## こども

子育て支援や教育等、まちの未来を担う子供のために

18歳に達する日以後の最初の3月31日までにある子供で、身体障害者手帳の対象とならない聴力30デシベル以上70デシベル未満の軽度・中等度の難聴児を対象に、補聴器購入費などを助成します。

関連予算 **110万9千円**

**新規** 軽度・中等度難聴児の補聴器購入を助成

待機児童の解消に向け、18か所の保育所等に対して整備費を補助し、定員を約300人増やします。また、7か所の留守家庭児童会を新たに開設し、定員を約250人増やします。

関連予算 **9億9,801万7千円**

**重点** 待機児童の解消に向けて

地域自治を進め、安全安心なまちをつくり、高齢者を含む地域住民の健康を増進するなど、活力ある地域社会をつくるため、緑が丘地域複合コミュニティ施設（仮称）の基本・実施設計等を行います。

関連予算 **594万円**

地域の核となる施設の建設に向けて

地域の様々な団体が課題を共有し、主体的に取り組む事業を支援します。今年度は、より地域に根差した活動ができるよう、末広・春光まちづくり推進協議会を分割します。

関連予算 **1,001万1千円**

**重点** 地域特性を生かしたまちづくりの推進

## ちいき

支え合う地域づくりに

結婚を希望する市民を支援するため、「縁結びネットワーク」をつくり、結婚に関する活動をしている団体等と連携して、結婚情報の収集や発信を効果的・効率的に行います。

関連予算 **315万7千円**

**新規** 結婚を希望する市民を応援

冬も快適で安全な生活を送れるよう、住宅（共同住宅を含む）に融雪施設や防雪フェンスを設置したり、無落雪屋根に改修したりする場合、工事費用の一部を助成します。

関連予算 **2,097万6千円**

**新規** 冬の快適で安全な暮らしのために

まだまだたくさんのお仕事があるよ



# 平成28年度の**予算**が**決ま**

今年度取り組む主な事業を紹介します。

★=国の「地方創生加速化交付金」を活用するため、平成27年度に予算を補正し、同28年度に実施。



写真提供：千葉常雄

しごと

地場産業の振興や新たな産業の創出など、  
まちの活力を生み出すために

地域経済の担い手となる若者の地元定着を進めるため、大学等に進学した若者が卒業後市内に就職した場合に、奨学金返済額の一部を助成。今年度はこの制度をPRし、次年度以降に助成を始めます。

関連予算 **199万1千円**

**新規重点**  
若者の地元定着を進めるために

航空路線を維持・確保するため、関係機関と連携を図ります。また、国際定期便等のさらなる増加に対応するため、グランドハンドリング業務（航空機発着に伴う地上業務）に対する補助を行います。

関連予算 **6,552万6千円**

**重点**  
国際航空路線の継続的な運航を目指して★

旭川への移住者や定住者を増やし、地域の活性化を図るため、移住・定住に関するPR活動を行うとともに、多くの方に旭川への興味や関心を持ってもらえるよう、移住体験の支援を行います。

関連予算 **2,096万5千円**

**新規重点**  
旭川の魅力を発信し移住者を増やす★

働く女性等の、旭川への移住・定住を図るため、情報通信技術を活用したテレワーク（※）の可能性調査を実施します。また、市内や首都圏で就活中の女性向けのUターン説明会を開催します。

関連予算 **2,070万7千円**

**新規重点**  
働く女性等の定住を図る★

※=パソコンやインターネット、電話などを使い、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。



昨年度策定した新庁舎建設基本構想を基に、皆さんからいただいた意見を踏まえながら、より具体的な機能や現庁舎周辺エリア内での建設場所などを示す基本計画の策定を進めます。

関連予算 **3,230万2千円**

新庁舎の  
建設に向けて

# 平成28年度予算の収入と支出の内訳

一般会計は13億2千万円の減

一般会計は道路や公園の整備、学校の建設、福祉事業、市民活動の支援、ごみ処理、健康づくりなど、市民生活全般にわたる支出とそれに伴う収入や、税金、国から交付される地方交付税などを経理する基本的な会計です。

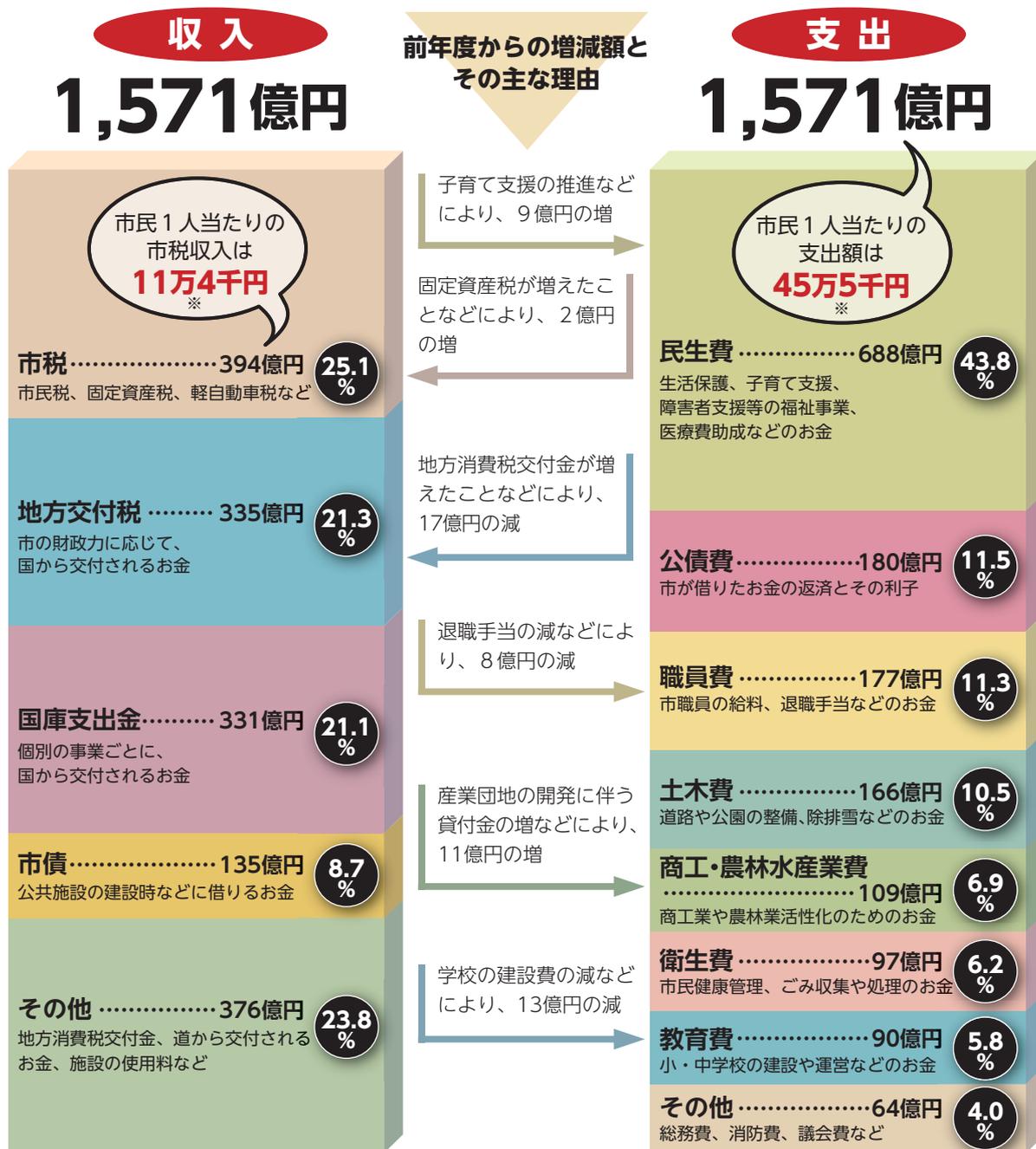
今年度の一般会計予算は、1千571億円で、前年度に比べて13億2千万円、約0.8%の減で、4年ぶりに前年度を下回りました。

## 合計

**2,829億1,148万4千円**  
(前年度比17億7,588万5千円減)

一般会計 1,571億円  
特別会計 1,258億1,148万4千円

## 一般会計の収入と使い道

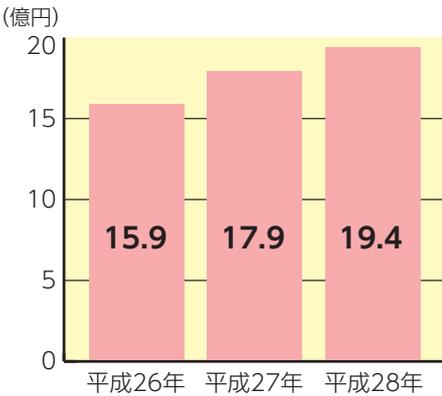


※ 1月1日現在の人口で計算。

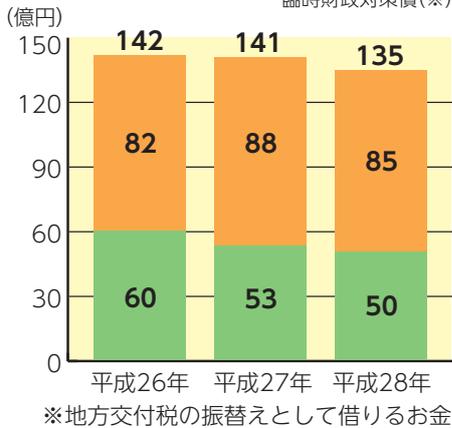
① 一般会計を年間支出500万円の家計に例えると

収入	給料 260.7万円		パート収入 (手数料ほか) 52.2万円	親からの仕送り (国庫支出金ほか) 136.9万円	借金や貯金の 解約など (市債ほか) 50.2万円		
	基本給 (市税) 125.4万円	諸手当 (地方交付税ほか) 135.3万円					
支出	食費 (人件費) 63.1万円	教育費・医療費 (扶助費) 161.5万円	ローンの返済 (公債費) 57.3万円	光熱水費 (物件費ほか) 85.7万円	家財購入 (投資的経費) 45.5万円	サークル 会費 (補助費) 36.8万円	その他 (繰出金ほか) 50.1万円
	義務的経費 281.9万円						

② 基金の取り崩し額



③ 市債の発行状況



一般会計を支出500万円の  
家計に例えると(図1)  
食費・教育費・医療費・ローン  
の返済など任意に削減できない経  
費を義務的経費といいますが、食  
費とローンの返済は減少傾向にあ  
るものの、教育費・医療費は年々  
増加しており、支出全体の30%を  
超えています。

④ 特別会計予算

国民健康 保険事業	458億190万4千円	
動物園事業	14億8,264万3千円	
公共駐車 場事業	8,883万7千円	
育英事業	8,596万7千円	
駅周辺 開発事業	2億5,072万9千円	
簡易水道事業	1億1,386万5千円	
農業集落 排水事業	4,018万6千円	
介護保険事業	336億5,086万9千円	
母子福祉資金等 貸付事業	1億2,412万3千円	
後期高齢者 医療事業	46億4,672万6千円	
企業会計	水道事業	105億2,433万2千円
	下水道事業	147億9,888万8千円
	病院事業	142億241万5千円
計	1,258億1,148万4千円	

基金の取り崩し(図2)  
市の基金は、一般家庭でいえば  
貯金に当たり、日頃積み立ててお  
いて、必要なときに取り崩して使  
います。財源を確保するため、財  
政調整基金などからの取り崩しを  
行います。

市債の発行(図3)  
市債は、公共施設の整備など、  
その年の税収だけでは賄えない資  
金を借り入れるもので、一般家庭  
で例えると住宅ローンに当たりま  
す。公共施設は長期にわたって使  
われるため、借り入れた資金を長  
期間で返済していくことで、世代  
間の負担を公平にする役割も果た  
しています。

市債の発行は義務的経費である  
公債費の増加につながるため、最  
小限の借入れに努めています。

特別会計は約4億6千万円の減  
特別会計は国民健康保険事業を  
はじめとして、市民の皆さんから  
の使用料などを基に事業を運営す  
るもので、13の会計があります。

今年度の特別会計予算の全事業  
の総額は、左の表4のとおり1千  
258億1千148万4千円で、  
前年度と比べて4億5千588万  
5千円、約0.4%の減です。

◎  
今年度の予算は、新たにスター  
トする第8次旭川市総合計画の重  
点テーマを柱に編成しました。  
魅力と活力あるまちづくりを展  
開していくために、収入の確保や  
経費の節減などに努め、安定的で  
持続可能な財政運営を目指します。

【詳細】政策調整課(画25・53  
58)、財政課(画25・5672)